

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2	選択
担当教員			
古川 直子			
1年次	全学部	週2時間	有
添付ファイル			
peace. pdf			

授業概要	<p>近年の平和学では、戦争や紛争などの直接的な暴力はもとより、飢餓、貧困、差別、抑圧などの不平等な社会的構造もまた平和を阻むものと考えます。この授業の前半部分では、このような構造的暴力の具体的局面を日本と世界の事例からとりあげ、広い意味での平和について考える視点を身につけてゆきます。戦後の平和学／平和運動の展開において、被爆地としてのヒロシマ・ナガサキはとりわけ重要な役割を果たしてきました。授業の後半部分では、長崎という地域に固有の体験から戦争と平和について考えてゆきます。</p> <p>学位授与の方針・教育過程編成実施の対応する教育目標 【形1】 【形2】 【形3】 【形4】 【機R1.4】 【機1.4】 【臨工1】 【医工1】 【国医1】</p> <p>その他の年度については、2019年度以前入学生は2019年に掲示された内容、2020年度以降入学生は入学年の履修ガイドを参照すること。 また、系統図も参照すること。</p>
授業計画	<p>第1回 インTRODクシヨン ー平和学のアプローチ</p> <p>第2回 構造的暴力とは何か（1）消極的平和と積極的平和</p> <p>第3回 構造的暴力とは何か（2）豊かさのなかの貧困</p> <p>第4回 構造的暴力とは何か（3）子どもの貧困</p> <p>第5回 構造的暴力とは何か（4）貧困の連鎖</p> <p>第6回 平等な社会とは（1）「生まれ」が決める人生</p> <p>第7回 平等な社会とは（2）さまざまな格差</p> <p>第8回 平等な社会とは（3）社会的不正義</p> <p>第9回 平等な社会とは（4）共生に向けて</p> <p>第10回 原爆とナガサキ（1）長崎における原爆の被害</p> <p>第11回 原爆とナガサキ（2）被爆体験と「二重の差別」</p> <p>第12回 原爆とナガサキ（3）韓国・朝鮮人被爆者の体験</p> <p>第13回 原爆とナガサキ（4）「ノーモア ナガサキ」に向けて</p> <p>第14回 原爆とナガサキ（5）「原爆神話」とナガサキ</p> <p>第15回 まとめ</p>
授業形態	<p>【講義形式】</p> <p>【アクティブラーニング】あり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者は配布資料を精読し、授業に臨みます。</li> <li>・授業中にワークシート記入の時間を設けますので、受講者は予習内容をもとに設問に解答します。</li> <li>・講義はワークシートの設問に沿って、受講者との対話形式で進めます。</li> <li>・対話型の講義を進めやすくするため、座席指定制を採用する場合があります。</li> <li>・グループワークやディスカッションを適宜取り入れます。</li> </ul> <p>【情報機器利用】 参考文献をPDFなどで配布したり、課題を配信したりすることがありますので、Google Classroomにアクセスできる状態で授業に臨んでください。</p>